

東西学術研究所 2015年度 第10回 研究例会

日時 2016年1月23日(土)

言語接触研究班

10:00~17:00

場所 以文館4階 セミナースペース

聴講自由
事前申込不要

基調講演

李 爽学 (台湾中央研究院)
『古新聖經』各種版本について

報告1

内田 慶市 (主幹研究員、外国語学部教授)
言語接触研究の過去・現在・未来—文化交渉学の視点から

報告2

陳 力衛 (委囑研究員、成城大学)
現代中国語にはどれくらいの日本借用語があるのか

報告3

清池ゆき子 (筑波大学)
近代訳語「恋愛」の成立とその意味の普及

報告4

田野村 忠温 (大阪大学)
意識地名「牛津」「劍橋」の発生と消長

報告5

張 厚泉 (東華大学)
「難民」とフィルモア大統領国書の翻訳

報告6

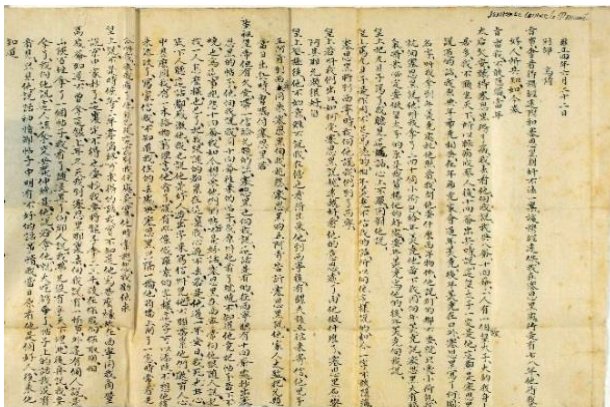
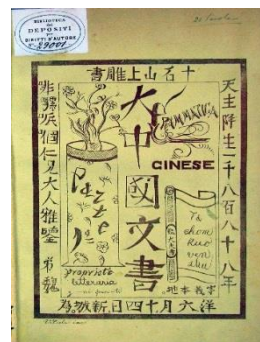
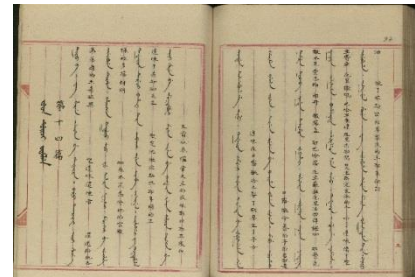
沈 国威 (研究員、外国語学部)
近代漢字訳語の研究について：中国語からの視点

報告7

奥村 佳代子 (研究員、外国語学部教授)
『唐話纂要』の不均質性—語彙の多様性についての再試論

報告8

塩山 正純 (愛知大学)
西洋料理と近代中国語—『造洋飯書』(1866)を例に



荒川 清秀 (愛知大学)
ロブシャイト英華字典と英和对訳袖珍辞書

朱 京偉 (北京外国語大学)
語構成パターンの日中対照とその記述方法

李 漢燮 (高麗大学)
近代韓国語における外来の新語新概念の導入について

朱 鳳 (京都ノートルダム女子大学)
漢訳聖書による音訳語の継承と創造